

1. 輸出における現状と課題

○ランキュラス

フロリアード2012で最高賞を受賞して以降、大輪系を中心にニーズが高く、安定した需要が見込まれる。しかし、安定供給を行っていく上で、ウイルス病の発生が問題となり、発生した場合、生産量の減少に繋がる可能性がある。

○トルコギキョウ

ランキュラス同様、輸出の主要品目であり、輪の大きさ、ステムの太さ等の品質面で他産地との差別化を行っており、安定した需要が見込まれる。全国的に問題となっているフザリウムによる土壌病害が発生しており、計画的な生産出荷に影響を与えている。

○スターチス

これまで輸出の実績は無いが、国内で育種されたシネンシス系のチェリーブロッサムシリーズを中心に花持ちがよく、多彩な品種がある等の理由から、海外から関心が高まっている。輸出を進めていく上で、需要の高い品種を見極め、品種の選定・作付面積増加が必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

○ランキュラス

・徹底したウイルス対策が必要になっているため、ウイルス病に罹患した球根はウイルスフリーのメリクロン苗の更新を行い、作付面積増加等により生産力の向上を図る。

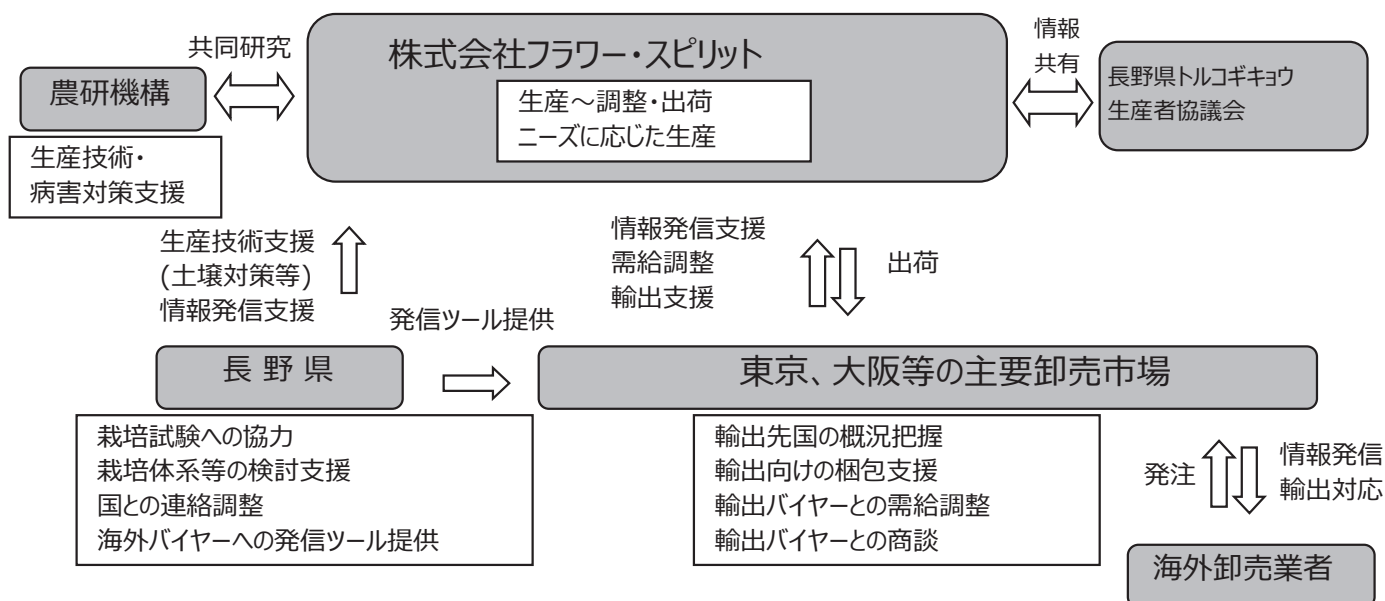
○トルコギキョウ

・フザリウム対策として、県や国の研究機関と連携し、効果的な土壌消毒技術により安定供給を図る。
・県研究機関等と連携して大苗定植の試験を実施し、品質の安定化と計画的な出荷に対する効果を確認し、技術導入を検討する。

○スターチス

・需要の高い品種を選定していくため、商談会等で品種毎のニーズを確認し、ニーズの高い品種の作付の計画的な増加を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

輸出額

(千円)

	実績（R 2 年）	目標（R 7 年）
ラナンキュラス	1 0 , 0 0 0	2 5 , 0 0 0
トルコギキョウ	8 0 0	1 , 6 0 0
スターチス	0	2 , 0 0 0
合計	1 0 , 8 0 0	2 8 , 6 0 0

輸出先国

	実績（R 2 年）	目標（R 7 年）
ラナンキュラス	アメリカ、東南アジア、中国、ドバイ、オランダ、ロシア、オーストラリア	アメリカ、東南アジア、中国、ドバイ、オランダ、ロシア、オーストラリア
トルコギキョウ	アメリカ、ドバイ、東南アジア、中国、オーストラリア	アメリカ、ドバイ、東南アジア、中国、オーストラリア
スターチス	—	東南アジア、ドバイ